

## 桜前線

### 山桜

4月初旬、京都保津峠の山あいに常緑の木々に混じつて山桜がひっそりと咲きだしていた。赤褐色の水みずしさを湛えた新芽と同時に開花する山桜は、絢爛たる華やかさはないが、やはり春の彩りの主役の一つとして趣が深い。

「一千本」と呼ばれている吉野山の桜もシロヤマザクラが主で、下千本から始まり中、上そして奥千本へと咲き登つて行く。昔の時代の桜はもつと疎らに静かに咲いていたという。桜の寿命は百年ほどしかなく、後世の人たちが献木し、脈々と植え継がれての今日の素晴らしい姿となつた。

吉野の桜で象徴されるように、五葉の時代の桜はヤマザクラが主流であつた。田峠に咲ける桜ただひと目、春にみせてば何をか思はむ』ひつそり咲く山桜に情感を込めて歌つているのもあれば、『あをによし寧良(なら)の京師みやこ)は咲く花の薰うがごとく今盛りなり』といふ絢爛たるナラヤエザクラを詠つてゐるものもある。次々と代わりした山桜は、奈良から平

安への時代の暗闘と歴史の変遷を吉野の桜とともに見続けてきたことだろう。

日記や古記録ものによる京都の観桜の平均の日付を丹念に調べた結果では、最も早かつた9世紀と最も遅かつた一世紀とで一週間以上違うという報告がある。また「五世紀から十六世紀にかけての諏訪湖の結氷日の記録と史料綜覧などの古記録から見た桜の平均観桜日と古記録を比較してみると、結氷日の遅れ進みが京都の

桜の観桜日の遅れ進みとよく合つてゐる。このようく桜の開花は古氣候の復元にも役立つ例は多い。

### 桜前線の北上

桜の種類はおよそ300種。日本のサクラも染

井吉野(メイヨシノ)桜が代名詞のごとくなつてゐるが、これは江戸時代末期にオオシマザクラとエドヒガンサクラとの雑種として登場したもののが始まりで時代は新しい。気象台では生物季節観測の条件を揃えるため、標本標準木を植

いたら、沖縄地方ではヒカンザクラ(緋寒桜)の開花前線が山から里へ、里から南の暖かい島へと南下する。沖縄の八重岳から咲き初めヒカンザクラは十一月三十日には標高100mの名護城で咲き出し、平地の那覇で一月十六日、メイヨシノを標本木として東京で九段の靖国神社境内、札幌でも北海道神宮境内に植えられて

いる。

三月末に九州南部から房総半島を経て太平洋

沿岸に上陸した桜前線は一日10キロメートルほどのゆき歩く速さで北上を始める。桜の開花予想を片手に京都の平安神宮では建物の朱色を反映しているがとき、薄紅色のヤエベニシダレザクラの満開を見る。その足で吉野山へ桜と共に登るのもよい。高さ100mについて一、三日遅れの勘定で登れば、気に挽回できる。信州高遠では残雪の南アルプスを背景としたコヒガンザクラを見るのも一興である。田の斜面に真珠を散りばめたよう』と形容されている新潟県の大峰山の『豫平(そだいら)サクラ樹林』という天然記念物の山桜も見てみたい。

### 桜前線の南下

桜前線は北上していくのが通り相場と想つておられる方も多いが、沖縄地方ではヒカンザクラ(緋寒桜)の開花前線が山から里へ、里から南の暖かい島へと南下する。沖縄の八重岳から咲き初めヒカンザクラは十一月三十日には標高100mの名護城で咲き出し、平地の那覇で一月十六日、南の宮古島では一四日となつてゐる。なぜこのようなことが起つたのだろう。

桜の開花には定期的に低温に曝された後に、

十分暖かくならないと咲かないというバーナリゼーション（春化作用）がある。ソメイヨシノの場合、日平均気温が五℃以下の寒冷経験と開花には10度以上の暖かい条件が必要となる。

日本列島は南西諸島を除いて冬の気温は5度以下になる方がほとんどなので、寒冷経験の条件は自然と満たされている。そこで気温の一〇℃の春の訪れとともに桜の開花前線が北上となる。

しかしながら沖縄地方では真冬でも開花の暖い条件はいつも揃っている。ヒカンサクラの低温条件は10度くらいでよく、いかにこの寒冷経験をするかが開花の決め手となる。冬の到来とともに標高の高い所でこそこの低温となり、時とともに里に降り、南の島々に南下する。その順番で薫が寒さで育てられ、急いで開花して南下する。ふつう寒波は桜の開花を遅らせるのに、ここでは開花を促す格好となる。まさに逆転の論理で桜前線が南下するのである。

ヒカンサクラからソメイヨシノ、エゾヤマザクラにリレされ最終の根室で開花するチシマザクラで終わる。海を渡ったロシヤでは、もう5月で、桜の花が咲いているが、庭は寒い」で始まるチエホフの『櫻の園』が有名である。あ

けがたの冷え、零下三℃の寒さですが、桜の花は満開ですよ。どうも感服しませんか、わが国の気候は。」と執事に嘆かせる。チエホフの桜は白い花が咲くサクランボの桜ではなかろうか。日本のサクランボはセイヨウミザクラで輸入もので花は白い。ピンクの濃い色をした緋寒桜で始まつた桜前線が淡い色のソメイヨシノを挟んで最終のチシマザクラの緋色で終わつていふ。加えて白い桜も可憐で別の趣がある。チエホフの桜を福島でみられるのはなかろうか。

（気象大学校 村松照男）